



営農ウィークリーNEWS

向島地域・レタス出荷最盛期



向島支店管内では、地域特産物のレタスが出荷最盛期を迎えています。

新鮮なものを消費者に届けたいとの思いから、京都南部青果株式会社の協力により、敷地内で早朝より向島野菜出荷研究部のメンバーが収穫したレタスを持ち込み、即日、量販店向きに出荷されています。

今年は、3月の長雨により生育が遅れたものの品質は高品質な出来栄です。

向島地域は、古くは巨椋池という大きな池があり、昭和16年に国内初の干拓地として、634ヘクタールの広大な農用地が造成されました。

現在では、水稻の作付けを中心に野菜では、レタスやキャベツ。花き類では、葉ボタンの栽培も盛んで栽培作物は多種多様です。



干拓地の肥沃な土壌を活かして栽培されたレタスは、良質なものが多くの特徴です。

また、サラダ需要に合わせ、減農薬栽培に取り組んでおられ、消費者の食に対する安全思考に対応しています。

2024年産レタスの品質は、良好で出荷は、5月中旬頃まで京都南部青果株式会社を通じて量販店向けに1万5千ケースの出荷を見込んでいます。



—TAC information—

ジャンボタニシの多発に注意！



近年では、暖冬の影響により、2020年産米で管内の西南部地域を中心に被害が多発しました。今年は、特に暖冬の影響により、大発生し、被害が多発することが予想されます。

田植え後20日までのイネが柔らかい時期に被害が集中し、水温が高くなるほど活動が活発になるため被害が増加します。また、深水になる田面の低い箇所やマクラ周辺に被害が目立ちます。移植直後に防除薬剤の「スクミハ粒剤」を散布し、被害を防ぎましょう。



農林水産省からも「**イネカメムシ**」の注意情報が発表されました。今年は、特に暖冬の影響で、**大発生**が予想されます。出穂前に必ず、防除を行ってください。

不稔米を発生させるイネカメムシの被害にご注意ください

- イネカメムシの発生が近年、拡大傾向にあります。
- イネカメムシは、基部斑点米を発生させる他、出穂期に籾の基部を加害することにより、**不稔米を発生**させます。
- 発生量が多く、適期の防除が実施されていない場合は、**大幅な減収となる可能性**があります。
- 他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、穂揃い期以降ではなく**出穂期に防除**することが重要です。



イネカメムシの成虫



イネカメムシ幼虫（5齢）



基部斑点米

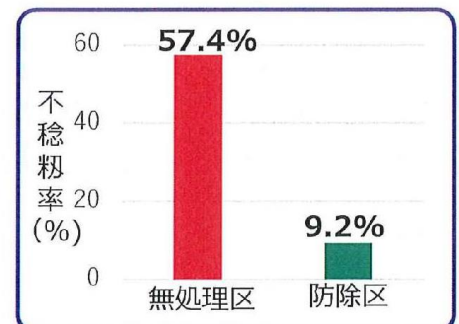


図 イネカメムシの不稔米に対する防除効果

注)防除区：登録農薬の散布を出穂期0日後と出穂期14日後に実施
山口県農林総合技術センターの試験研究結果から抜粋

イネカメムシに対する防除対策

○情報のチェック

都道府県の病害虫防除所が発表する発生予察情報などの病害虫の防除に関する情報をこまめに確認し、**地域の発生状況を把握**しましょう。

○圃場内への初期の侵入を把握

圃場の見回り、白色粘着板トラップの利用等により、**圃場への初期の侵入の把握**に努めましょう。他の斑点米カメムシ類と異なり、イネカメムシは稲への嗜好性が高いため、畦畔や水田の周辺のイネ科雑草で確認されることは少ないです。

○防除の実施

イネカメムシの発生量が多いと判断した場合は、**出穂期の臨機防除**を実施しましょう。また、過去から発生量が多く、被害が懸念される地域は、**出穂期の防除を計画的に実施**しましょう。防除後も圃場の発生状況を確認するために、圃場をよく観察しましょう。

※地域や栽培体系などにより、使用する薬剤など、効果の高い防除体系は異なります。
都道府県が発表する情報に基づき、イネカメムシに対して、より効果の高い防除を実施してください。

都道府県の病害虫
防除所のHP一覧

